

森の学び推進コーディネーター

常盤 みのり / 生涯学習課 / 任期：令和7年6月～（1年目）

ミッション 内容

- ・森を活用した学びの実践プログラムの策定
- ・森を活用した学びによる、多世代の交流や生涯学習の推進
- ・森で活動する人や団体をつなぐ仕組みづくり

今年度 おもな 活動成果

◆月1モイmoiとの連携企画の実施

→ 参加者48名（8月、10月開催）

◆焚き火ウィークの実施

→ 参加者82名（11月、12月開催）

◆活動紹介チラシ作成



来年度 ・ 卒後

- ・「屋根のない博物館構想」に向けた具体的実践を重ねる
- ・ 森や里山にまつわる学びの機会をつくり、人と人のつながりを育む

森の学び推進コーディネーター

常盤 みのり / 生涯学習課 / 任期：令和7年6月～（1年目）

◆月1モイmoiとの連携企画の実施

①「すずやかな森を感じよう」…参加者17名

②「森の恵みで草木染め」…参加者31名



森の学び推進コーディネーター

常盤 みのり / 生涯学習課 / 任期：令和7年6月～(1年目)

◆ 焚き火ウィークの企画・実施

森と学びセンターの具体化に向けて、各課の地域おこし協力隊や集落支援員、一般市民など焚き火や伊那市を愛するメンバーで結成した「焚き火ウィーク実行委員会」により企画・実施

1週間森に集いの場を開くことで、以下の2点を目指す



- ・多様な人たちが気軽に森に出かけ、親しむきっかけづくり
- ・子どもから大人まで立場を越えて学びや交流を深める文化を育む

	参加人数
第1回焚き火ウィーク 10月31日(金)～11月5日(水) 5日間	11/2以外 : 53人 11/2(森JOY) : 1000人
第2回焚き火ウィーク 12月10日(水)～12月14日(日) 5日間	29人



森の学び推進コーディネーター

常盤 みのり / 生涯学習課 / 任期：令和7年6月～(1年目)

◆活動紹介チラシ

月1モイmoiのSNSアカウントを通して活動を発信しているのに加え、より活動の幅を広げるために広報媒体としてチラシを作成し、配布している

おもて面

**伊那市地域おこし協力隊
森の学び推進コーディネーター
常盤みのりです**

よろしくお願いします

ABOUT ME
2025年6月から伊那市地域おこし協力隊「森の学び推進コーディネーター」として活動中。
群馬県出身。6歳と3歳の子どもの子育て中。
草花遊び・山菜採り・光る泥だんご・たき火・かご編み・草木染めなど、「野あそび」を通して自然と関わってきました。
自然に寄り添った暮らしを求めて、家族で伊那に移住。自給自足の暮らしを目標に、いつかはわたりを興いたいと思っています。

**森に囲まれた伊那市で
森や里山と関わる「学び」と「つながり」
を広げています。**

活動の3つの柱

- 森や里山での学びづくり
森を身近に感じ、自分らしい関わり方を見つける体験を企画
- 多世代の学びと交流
子どもも大人もお年寄りも、ともに学び合える場づくり
- 人と人をつなぐ
森のように人と人が出会い、関わりあっていくきっかけづくり

今後やりたいこと

- 「森や里山の恵み会」
森の恵みを暮らしに取り入れる楽しさを伝える、ものづくりの集い
草木染め・リースづくり・かご編み など
- 「森のようなおしゃべり会」
気軽に集っておしゃべりしたりする会
色々な年齢の人が交じり合う、森のような場になりますよう

お問い合わせ：noasobi.minori@gmail.com

うら面

学校教育

- 森の学び場と子どもの居場所「こどもの森」
- フィンランドの学校とのオンライン交流
- 野外の体験と教科の学びが結びつく、「野外で授業」の取り組みを進めている

伊那市ミドリナ委員会

暮らしのすみずみまで森が息づく社会を目指し、森JOY、たき火の日などのイベントや学びの機会を開催

ホームページ
<https://midorina.jp>

Instagram
@midorina.ina

森と学びに関する取り組みの紹介

月1モイmoi (地域創造課)

森と親しみながら暮らすフィンランドの文化を、伊那で体験する会を、色々なテーマで月1回程度開催

焚き火ウィーク

市民の森で月1回1週間毎日焚き火をする会
どなたでも参加できます

森のたのしさのびやかさ感じましょう

月1モイmoi Instagram @fina.moimoi

詳細は月1モイmoi Instagramをご覧ください

森の学び推進コーディネーター

常盤 みのり / 生涯学習課 / 任期：令和7年6月～(1年目)

◆ 来年度の活動・卒後の展望

- 森や里山にまつわる学びや、つながりを育むイベントの企画・実施
- 活動についての発信力向上
→ SNSの活用等を模索していきたい
- 屋根のない博物館構想や森と学びセンターの活動が発展していく地盤作り

